

IAEA 原子力エネルギーマネジメントスクール東海村(後半)で開講 茨城県量子ビーム研究センターにて

原子力発電新規導入国における若手リーダーの育成を目的とする「IAEA 原子力エネルギーマネジメントスクール」(=写真)の前半部を東京大学(本郷キャンパス・山上会館)で開講し、6月3日から茨城県東海村に移動しその後半部(第2週目)を実施している。この後半部では、原子力政策に加え研究用原子炉の視察、原子力プラント製作会社、原子力燃料製造会社等での製造工程を視察する。研修生は、アジア、アフリカ等から計13ヶ国合計31名、国内人材の国際化の観点から、電力、メーカー等からも14名の研修生が参加している。

本 IAEA スクールは、原子力人材育成ネットワークが日本原子力研究開発機構、東京大学、日本原子力産業協会と共同で、平成25年5月27日(月)～6月10日(月)にかけて受け入れたものです。本スクールへの期待が国内外において大きいことから、原子力人材育成ネットワークとしては、来年度も引き続き継続していきたい。

◇ 開講式挨拶



Meera Venkatesh 氏



近藤原子力委員長

◇ 講義風景

○東京大学 山上会館(東京)



○いばらぎ量子ビーム研究センター(茨城県東海村)

